

# 令和5年度 予算の概要

多摩ニュータウン環境組合

# 1 令和5年度予算について

【令和5年度予算編成方針】

令和4年8月29日策定

## －中期経営計画・ビジョン2027 始動の年－

### 1 世界、日本の経済状況

世界経済は、欧米では新型コロナウイルス感染症の収束、ウィズコロナ対策への転換により回復基調へと転じる一方、未だ生産や物流は回復していないことから、需給ギャップの拡大により、消費者物価が大幅に上昇している。さらに、ロシアのウクライナ侵攻により食料、エネルギー需給がひっ迫し、インフレが進行していることから、欧米の金融政策は、これまでの緩和から引締めへと転換している。

一方、我が国経済は、コロナ禍からの回復は依然として脆弱な状況にあり、食料品やエネルギーでの価格上昇はあるものの、2パーセントの物価安定目標の持続的・安定的な実現のため、引き続き金融緩和策を継続している状況にある。

今後の経済状況については、原材料価格の上昇や供給面での制約に加え、金融資本市場の変動等による下振れリスクに十分注意する必要がある。

### 2 構成市の状況

構成市は、基礎的自治体として、市民の生命、健康、生活を守ることを最優先とし、感染症対策や経済活動を支える取り組みなどを切れ目なく行わなければならない。

さらに、二酸化炭素の排出量削減、脱炭素社会の構築、デジタルトランスフォーメーションなどの新たな諸課題にも対応していくことが求められている。

経済状況は不透明な状況にあり、景気の好転が見込めない中、厳しい財政運営が続いている。

### 3 本組合の役割・取組

本組合の役割は、ごみの中間処理施設である多摩清掃工場の安全で衛生的な運転を前提として、合理的で効率的な経営を行うことにある。

本組合では、平成20（2008）年に5年を計画期間とした「中期経営計画」を策定して以来、更新を続けながら、政策課題や外部環境の変化に対応するため、戦略的な取り組みや経営改革を進めてきた。

焼却棟は稼働から25年目、不燃・粗大ごみ処理棟は稼働から21年目を迎え、機器を良好な状態に維持するためには、長期修繕計画を着実に実施する必要がある。また、次期処理施設検討の準備や人材の確保・育成などにも計画的に取り組まなければならない時期を迎えている。

これらを踏まえ、令和5年度は「中期経営計画・ビジョン2027」始動の年として予算編成を行いました。

## 令和5年度予算のポイント

「中期経営計画・ビジョン 2027」に基づき所要額を見積もりました。また、経費については、すべての事業について内容を精査し、構成市の負担金に安易に依存することのないよう、経費の節減を徹底した予算を編成するため、以下のポイントを定めました。

- ① 安全で安定したごみ処理体制の確保について
  - ・安定した運転の確保を基本とし、長期的な視点に立ち、施設の維持管理を行う。
  - ・コストを意識し、精度の高い的確な予算を編成する。
  - ・新規レベルアップ事業はもとより、経常経費についても改めて精査し、収入確保を図り、ごみ処理コストの低減を推進する。
  - ・適切に感染防止策を講じ、事業の継続を図る。
- ② 環境と安全に配慮した取り組みについて
  - ・環境測定を着実に実行する。
  - ・地元協議会を開催し、地元住民との関係強化を図る。
- ③ 事業評価の実施(サマーレビュー)について
  - ・増減の見込まれる事業及び新規・廃止事業について評価を行い、事業ごとに精査・見直しを行う。
- ④ 補助事業について
  - ・国庫補助金や都補助金の交付基準を確認し、新たな財源確保に努める。なお、補助事業であることを理由に安易に事業採択を行い、結果として多額の一般財源の持ち出しを招かぬよう留意する。
- ⑤ 歳入の確保について
  - ・負担金に安易に依存することなく、電力量料金収入や鉄屑等売却代といった、組合独自の歳入の確保に努めること。
- ⑥ 国等の制度改正への対応について
  - ・制度改正が見込まれるものについては、新規・レベルアップ事業と同様に十分な理解と情報収集の上で必要経費を精査する。

## 令和5年度予算の規模

予算総額は16億7,942万4千円で、前年度に比べ2億2,166万2千円、15.2%の増加となりました。

歳入面では、施設整備基金と財政調整基金からの繰り入れを行います。単価の上昇により鉄屑等売却代と電力量料金収入の増収を見込みました。引き続き、町田市の可燃ごみ処理支援に伴う収入を見込んでいます。

歳出面では、組合採用職員の補充や光熱水費の上昇、工場運転等管理業務委託の更新、機器補修工事等の実施により処理場費は前年度比15.0%増となりました。屋上防水改修工事や火花検知システム設置工事等を実施し、安全・安定した工場運営を進めていきます。

## 2 予算の主な内容

### (1) 歳入

諸収入の内訳(単位:千円)

雑入	195万4千円
他団体ごみ処理費	1億1,138万5千円
鉄屑等売却代	2,598万5千円
電力量料金収入	1億2,928万9千円
各種交付金	1千円
弁償金	18万7千円

諸収入  
2億6,880万1千円  
16.0%

繰越金  
2,854万円  
1.7%

繰入金  
2億8,674万9千円  
17.1%

歳入合計  
16億  
7,942万4千円

分担金及び負担金  
10億9,513万9千円  
65.2%

その他の収入	19万5千円	0.0%
使用料及び手数料	12万1千円	
国庫支出金	0円	
財産収入	7万4千円	

款	令和5年度		令和4年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 分担金及び負担金	1,095,139	65.2	935,340	64.2	159,799	17.1
2 使用料及び手数料	121	0.0	121	0.0	0	0.0
3 国庫支出金	0	0.0	1	0.0	△ 1	△ 100.0
4 財産収入	74	0.0	68	0.0	6	8.8
5 繰入金	286,749	17.1	91,781	6.3	194,968	212.4
6 繰越金	28,540	1.7	31,280	2.1	△ 2,740	△ 8.8
7 諸収入	268,801	16.0	399,171	27.4	△ 130,370	△ 32.7
計	1,679,424	100.0	1,457,762	100.0	221,662	15.2

### 歳入予算の主なもの — (対前年度比較) —

○分担金及び負担金 10億9,513万9千円 (1億5,979万9千円増)

・構成市別負担金内訳 (単位:千円)

	負担金額	負担割合	前年度負担金額	前年度比
八王子市	396,328	36.2%	335,181	61,147
町田市	155,412	14.2%	134,030	21,382
多摩市	543,399	49.6%	466,129	77,270

○繰入金

2億8,674万9千円 (1億9,496万8千円増)

・施設整備基金繰入金 2,322万2千円 (工事への対応)

・財政調整基金繰入金 2億6,352万7千円 (財源調整)

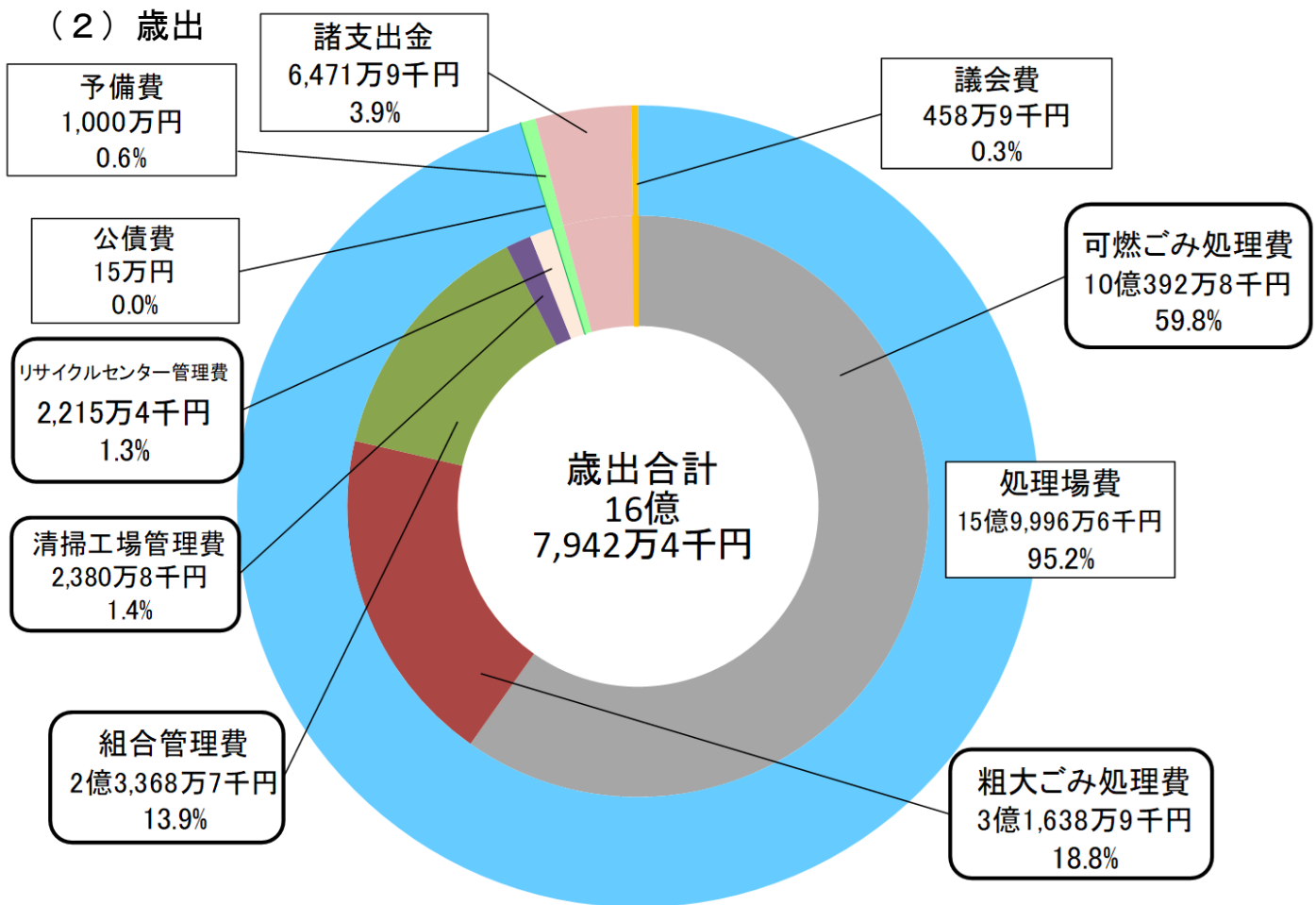
○諸収入

2億6,880万1千円 (1億3,037万0千円減)

・町田市支援ごみ処理費 1億1,138万4千円 (1億6,861万6千円減)

※町田市支援ごみ処理費は、ごみ搬入量が確定次第、補正予算で対応予定

・売電収入 1億2,928万9千円 (2,692万9千円増)



(単位:千円、%)

款	令和5年度		令和4年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 議会費	4,589	0.3	5,227	0.4	△ 638	△ 12.2
2 処理場費	1,599,966	95.2	1,391,162	95.4	208,804	15.0
3 公債費	150	0.0	125	0.0	25	20.0
4 予備費	10,000	0.6	10,000	0.7	0	0.0
5 諸支出金	64,719	3.9	51,248	3.5	13,471	26.3
計	1,679,424	100.0	1,457,762	100.0	221,662	15.2

### 歳出予算の主なもの — (対前年度比較) —

#### ○議会費

- ・ 議会費は視察費用の減少により前年度比 63 万 8 千円の減少

#### ○処理場費

- ・ 組合管理費は組合採用職員の補充、電気自動車購入により前年度比の 1,223 万 6 千円増加
- ・ 粗大ごみ処理費は工場運転等管理業務委託の更新や機器補修工事、火花検知システム設置工事の実施により前年度比 4,867 万 1 千円の増加
- ・ 可燃ごみ処理費は光熱水費の単価上昇や工場運転等管理業務委託の更新、機器補修工事の実施により前年度比 1 億 4,944 万 9 千円の増加
- ・ リサイクルセンター管理費は 20 周年事業が令和 4 年度に完了したことにより前年度比 164 万 8 千円の減少

### 3 基金及び地方債の状況

#### (1) 基金について

##### ○施設整備基金

施設整備基金は、多摩清掃工場の施設整備及び修繕に充てることを目的に設置したものです。

令和5年度は、運用に係る利子の5万6千円を積み立て、建築設備更新工事に1,577万8千円と、火花検知システム設置工事に744万4千円を充当します。

##### ○財政調整基金

財政調整基金は、災害復旧など突発的な財政需要が生じた場合や年度間調整として負担金の平準化が必要な場合の財源に充てることを目的に設置したものです。

令和5年度は、原資として売電収入の1/2である6,464万5千円、運用に係る利子の1万8千円を積み立て、財源調整として一般会計に2億6,352万7千円を充当します。

(単位:千円)

基金名称	令和3年度末 現在高	令和4年度末 現在高見込額	令和5年度中増減見込み		令和5年度末 現在高見込額
			積立見込額	取崩見込額	
施設整備基金	618,594	637,085	56	23,222	613,919
財政調整基金	809,176	791,204	64,663	263,527	592,340

#### (2) 地方債について

地方債とは、「地方公共団体が1会計年度を超えて行う借入れ」のことをいいます。本組合では現在の施設を建設するための資金として借入れを行っていましたが、平成28年度末で全ての償還が終了しました。令和5年度は新たな借入れの予定はありません。予算上では一時借入金の利子相当額のみを計上しています。